

## 第2学年 組 学級活動（2）指導案

日 時：令和2年6月〇日第〇校時

場 所：2年〇組教室

指導者：担任・栄養教諭

### 1. 題材

「すききらいなくたべよう」

学級活動（2）エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

### 2. 題材について

#### （1）児童の実態

素直で何事にも前向きに取り組もうとする子が多い。給食では、時間内に学年相応の量を食べられなかったり、偏食があったりして残菜が多い。野菜に限らず、肉や野菜、米飯なども苦手とする子がおり、好き嫌いをなく食べたほうがよいと分かっているにもかかわらず、なかなか食べられないことが多い。

#### （2）題材設定の理由

子どもたちの様子を見ると、個人差はあるが、偏食や小食の子が多い。好き嫌いをなく食べたほうがよいことは分かっているが、なぜいろいろな食べ物を食べなくてはいけないのかその理由を理解している子は少ないためだと考えられる。そこで、健康で育つためには、いろいろな食べ物を好き嫌いをなく食べることが大切であることを理解させ、給食を残さず食べようとする意欲をもたせたい。

### 3. 第1学年及び第2学年の評価規準

観 点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評 価 規 準	食べ物には、体にとって大切な働きがあり、好き嫌いしないでいろいろな食べ物を食べることが大切だということを理解することができる。	苦手な食べ物を食べるための工夫についての話し合い活動を通して、自分にできそうな食べ方を見つけることができる。	めあてをもち、苦手な食べ物も進んで食べようとする事ができる。

### 4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・ 苦手な食べ物についてのアンケートを記入する。	・ 普段の給食を想起させ、苦手な食べ物を問う。 ・ 苦手な食べ物が出たとき、どうしているのか問う。	・ 現在の食べ方に対する自己の課題が分かる。（知識・技能）

### 5. 本時のねらい

紙芝居『まよなかの話し合い』を聞くことを通して、食べ物にはそれぞれ働きがあることを理解し、好き嫌いしないで苦手は食べ物も工夫して食べようとする事ができる。

## 6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T1 (学級担任)	T2 (学校栄養士)		
導入 つかむ	1. 食べ物についての事前アンケートの結果を見て、気付いたことを話し合う。	・食べ物列車の掲示から、アンケート結果にあった苦手な食べ物ははずしていく。	・食べ物がほとんどなくなった列車の元気の悪い表情に注目させ、その原因が偏食にあることを知らせる。	食べ物列車	
展開 さぐる 見つける	④すききらいすると、なぜよくないのだろう。			紙芝居『まよなかの話し合い』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物には、体にとって大切な働きがあり、好き嫌いしないでいろいろな食べ物を食べることが大切だということを理解することができる。(知識・技能)</li> <li>【発言】</li> <li>・苦手な食べ物を食べるための工夫についての話し合い活動を通して、自分にできそうな食べ方を見つけることができる。(思考・判断・表現)</li> <li>【発言】</li> </ul>
	2. 紙芝居『まよなかの話し合い』を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視点を知らせる。</li> <li>○どんな食べ物が怒っていたか。</li> <li>○それぞれなぜ怒っていたか。</li> <li>☆食べないとどうなるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居を読む。</li> </ul>		
	3. 登場人物(食べ物)や起こっていた理由について話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いをするとなぜよくないのか、詳しく説明する。</li> </ul>		
	4. 苦手な食べ物もどうしたら食べられるようになるか、経験をもとに話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な食べ物を食べる工夫について発表させる。</li> <li>○すきなものといっしょに食べる。</li> <li>○少しずつ食べる。</li> <li>○先に食べる。</li> <li>○こまかくして食べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補足の説明と給食センターでの工夫を説明する。</li> <li>○細かく切る。</li> <li>○好きな料理に混ぜる。</li> </ul>		
終末 決める	5 ワークシートにこれからの目標を記入し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の課題に合った具体的なめあてや実践方法を学習カードに記入するようにする。</li> <li>・何人が発表するなかで、めあての修正や実践の参考にできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導を行い、必要に応じて、具体性のあるめあてや実践方法が設定できるように助言を行う。</li> </ul>	カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてをもち、苦手な食べ物も進んで食べようとする事ができる。(主体的に学習する態度)</li> <li>【カード・発言】</li> </ul>

## 7. 事後の指導

関連する教科・・・生活科「大きなあれ わたしの野さい」

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食時間を中心に、自分の立てためあてを振り返る。</li> <li>・グループの仲間で取組を確認し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食中に、学んだことを想起できるような声かけをする。</li> <li>・給食後に取組を仲間同士で確認し合う場を設け、お互いのがんばりを励まし合うことにより、実践の継続を図るようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の立てためあてに進んで取り組み、好き嫌いしないでいろいろな食べ物を食べようとしている。(主体的に学習する態度)【観察】</li> </ul>

\*指導内容を学年通信に記載し、家庭においても同じように指導していただくように依頼する。